

カブトムシの森保全について

◆長期保全計画（森会の基本方針）

「里山に代表される二次林（具体的にはクヌギ・コナラを主とした林）の自然環境を復元する保全作業を行い、その象徴として、カブトムシなどの甲虫類が生息・観察できるような森づくりを目指す。

◆「カブトムシの森5ヵ年保全計画（2010年～2014年）」（2010年1月作成）

「カブトムシの森」の現状を踏まえ、一般市民や「自然観察の森」の利用者に自然とのふれあい空間を提供するため森会及び管理事務所が協力し、多様な動植物の生育環境を保全するための持続可能な計画。

<A地区での主な作業>

- ① クヌギの大径木を育成。
- ② 管理道路及び芝生広場側からの入口の設置。
- ③ 湿地の保全（ツバキ類の除伐、日陰の確保、C地区のエノキの実生苗の移植）
- ④ 炭焼き窯の「油山の宝物」としての利活用。（ソフト要検討）
- ⑤ ベンチ、テーブル等の休憩施設の設置。
- ⑥ 子供の広場を充実させ、カブトムシの森へ利用者を誘導する。
- ⑦ 入口周辺の間伐・カブトムシの森の拡張。（休憩小屋東側の森が入口部を暗くしている。）
- ⑧ 入口が分かりにくいいため、地図入りの案内看板を設置する。

<B地区での主な作業>

- ① タブノキ・灌木類の除伐。（管理道路からの視認性確保）
- ② 堆肥ヤードを飼育小屋の裏へ移設。
- ③ 水遊びのできる水辺の創造。
- ④ 遊歩道の拡幅。

<C地区での主な作業>

- ① 手前のスギ人工林を皆伐して新たな育林のゾーンとして拡張する。（将来計画）
- ② 地区内の園芸種・移入種の除伐。
- ③ クヌギの間伐、萌芽更新。
- ④ ネズミモチの除伐。（管理道路からの視認性確保）
- ⑤ 谷地側のスギ、二次林の間伐（日照と空間の広がり確保、野鳥の営巣要確認）
- ⑥ 昆虫の住处づくりとして保存草地を設定。（コドラートを設定し、植生、昆虫の調査を行う。）
- ⑦ 管理事務所及びセンターからの誘導と入口の表示サインの設置。
- ⑧ 休憩場所として、飼育小屋跡の利用。
- ⑨ ベンチの設置。
- ⑩ 小段の通路への階段設置。

<記念樹の森での主な作業>

- ① ヤブツバキの間伐